

文学1(中国) (Chinese Literature)					担当教員
					非常勤講師 藤井 敦子
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
人と文化	1年次 前期後期	講義	1.5単位	選択	

【概要】

この授業では、「日本と中国」の歴史と文化をテーマにお話しします。具体的には、日記や書簡、小説やエッセイなどから、主に清末から1940年代までの日中関係および中国人から見た日本・日本人、そして日本人から見た中国・中国人について見ていきたいと思っています。キーワードに挙げた人物・作品・事柄等を中心に、歴史・文学を含めた日本と中国の社会や文化について、女性史的視点からもお話ししていく予定です。

この授業はすべて対面で実施します。

【授業の一般目標】

主に清末～1940年代の日本と中国の歴史および文学作品について学び、当時の日中関係や日本と中国の社会的・文化的背景を総合的に理解する。

【準備学習(予習・復習)】

授業で取り上げる文学作品や歴史の概説書・専門書を読むなどして自学自習することが望ましい。予習復習を合わせて一週間で150分程度の学習を想定している。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	ガイドランス、イントロダクション	藤井	清末から1940年代までの日中関係の流れを把握する。
2	小説から日本をみる(1)魯迅	藤井	魯迅の小説から日中関係を理解する。〇〇
3	小説から日本をみる(2)魯迅	藤井	魯迅の小説から日中関係を理解する。〇〇
4	小説から日本をみる(3)魯迅	藤井	魯迅の小説から日中関係を理解する。
5	国際結婚から日中関係をみる(1)郭沫若・陶晶孫と佐藤姉妹	藤井	2組の国際結婚から日中関係を理解する。〇〇
6	国際結婚から日中関係をみる(2)郭沫若・陶晶孫と佐藤姉妹	藤井	2組の国際結婚から日中関係を理解する。〇〇
7	小説から中国をみる(1)瀬戸内寂聴	藤井	瀬戸内寂聴の小説から日中関係を理解する。〇〇
8	小説から中国をみる(2)瀬戸内寂聴	藤井	瀬戸内寂聴の小説から日中関係を理解する。〇〇
9	日記・書簡から中国をみる(1)竹中繁	藤井	竹中繁の日記・書簡から日中関係を理解する。〇〇
10	日記・書簡から中国をみる(2)竹中繁	藤井	竹中繁の日記・書簡から日中関係を理解する。〇〇
11	雑誌記事から中国をみる(1)高良とみ	藤井	高良とみの雑誌記事から日中関係を理解する。〇〇
12	雑誌記事から中国をみる(2)高良とみ	藤井	高良とみの雑誌記事から日中関係を理解する。〇〇
13	文学と歴史	藤井	ここまで学んできた文学と歴史の関係について総合的に理解する。〇〇
14	文学とジェンダー	藤井	ここまで学んできた文学とジェンダーの関係について総合的に理解する。〇〇
15	総括・まとめ		

(書名)

(著者・編者)

(発行所)

教科書 なし

参考書 授業中に紹介します。

【成績評価方法・基準】

平常点(15%)および期末試験(85%)で評価します。

【評価のフィードバック】

定期試験の講評はmanabaに掲載します。